

第44回八戸市ミニバスケットボール大会新型コロナウイルス感染対策について

八戸市バスケットボール協会 U12部会感対策部

新型コロナ感染対策は、JBAのガイドラインに基づいて行います。感染対策に努めても、リスクを0にすることはできません。できる限りの対策を行って感染拡大を防ぎ、誹謗・中傷や不当な扱いなどを絶対に起こさない、良い大会になるようご理解ご協力をお願いします。

1 前日まで

- ・感染対策責任者を中心に、感染症対策と健康管理を行う。
- ・2週間前からJBAの「健康チェックシート」を記入する。また、保護者欄も記入する。
(試合に勝ったチームは、試合当日までの体温等を新たに記入する。)
- ・体調不良者(37.5℃以上の発熱、咳、息苦しさ、倦怠感)は、練習に参加できない。
- ・試合後に、ベンチ・応援席・控え場所等の消毒ができるように消毒の道具を準備する。

2 当日について

(1) 受付

- ・各チーム試合開始1時間前に来場する。
- ・手指消毒をして入場する。
- ・各チームの感染対策責任者は、選手・スタッフの「健康チェックシート」の記入漏れがないか確認し、**ファイルか輪ゴムでまとめ、大会本部に提出する。(遅れてくる場合も一緒に)**

(2) 試合中

- ・体調不良者(37.5℃以上の発熱、咳、息苦しさ、倦怠感)は、直ちに医療機関を受診する。
- ・相手チームや審判と握手をしない。
- ・試合前の円陣は行うことができる。
- ・ハイタッチ、抱擁などをしない。
- ・ボトルやタオルなどを共有しない。
- ・出場選手以外はベンチでもマスクを着用し、会話を控え大きな声を出さずに拍手で応援をする。
- ・試合間やハーフタイムに換気を行う。
- ・審判員は、ホイッスルカバーやレフェリーマスクを着用する。
- ・審判員は、Q間やタイムアウトの際に手指・ボールの消毒を行う。
- ・チームスタッフは、指定の応援場所で大きな声を出さず、拍手などで応援をする。

(3) 試合後

- ・試合後の相手ベンチへの挨拶は、キャプテンのみとする。
- ・試合後に、ベンチと応援席を各チームで消毒する。
- ・控室の座席等を各チームで消毒する。
- ・**1日目の勝利チームは、「健康チェックシート」を本部で受け取る。**

3 大会実施の可否

- ・大会の3日前までに実施の可否について本部で協議し、変更があれば各チームへ緊急連絡をする。
※大会可否の基準は、7月改訂「新型コロナウイルス感染対策について」を参照

段階は2 大会スタッフは、ベンチ選手数と同数までとする。

4 感染対策担当者

(1) 消毒係 (U12部会感染対策者)

- ①ゲーム終了後に、ST椅子・テーブル・器具の消毒(雑巾で拭く)
- ②ゲーム終了後に、10分間の換気
- ③会場図

